

# 株式会社 北嶋絞製作所



代表取締役  
北嶋 一甫

東京都  
大田区京浜島2-3-10

1947年(昭和22年)設立  
03-3790-2300

熟練の職人技が創り出す  
へら絞りの妙技

熟練した職人技のへら絞り加工によって、日用品から医療、最先端のロケットまで、多様に渡る分野へ製品を提供。H2ロケットブースターの先端部、米国の航空機部品の製造にも当社の技術が生きている。

## へらを使った職人技の「へら絞り」

平たい金属板を、回転している金型の上にかぶせるように特殊なへらで伸ばしていく「へら絞り」加工。上下の型で挟み込んで加工するプレス加工と違い、少量多品種の加工と人の手による微妙な丁合を可能とする職人技の技術である。

## 「へら絞り」の強みである少量多品種生産

回転体であればどんな金属でも、どんな形状でも加工できることに加え、少量多品種で初期投資が低く抑えられるがゆえに、身近なところでは、居酒屋のビールサーバーや照明器具・ライトの反射板から、大型パラボラアンテナ、人工衛星の機械部品、航空機、原子力関連、半導体製造装置など様々な分野の製品に「へら絞り」の加工技術が活かされている。

## あくなきチャレンジによる磨かれた職人技

同社は、50年以上積み上げてきたノウハウと職人の感を常に磨くことを心構えにおいて、顧客との信頼関係を築いてきた。その気構えが、へら絞りの特徴である「丸み」に0.1~0.01mmの加工精度を付加した高度な製品加工技術を可能にし、H2ロケットブースターなど技術の粋を集めた分野へ同社の技術が活かされる結果となっている。

へら



大型パラボラアンテナ



ロケット先端部等  
(どの部分でも厚みが均一)



特殊加工例(首の部分だけ厚みを増している)



高精度な加工(合わせた時のスキマがゼロ)